若手社員の抱負

ダイニチグループ創業75周年記念インタビュー・VOL5（最終回）

「次の節目に向かって」

浦安を拠点に事業を展開するダイニチグループ創業75周年インタビュー。
最終回は、グループ各社の若手社員に、次の節目、創業一〇〇年に向けた抱負を語ってもらいました。

株式会社ダイニチ

時代先取りで、住まいの付加価値を追求。

石川　翼さん（25歳）

オートロック、防犯カメラ、インターネット回線、モニター付きインターフォン、地上波デジタル…。どれも25年前の賃貸住宅にはなかった機能が、今では当たり前のように求められています。

創業一〇〇年に向けたこれからの25年の間にも、生活に必要な新しい設備や仕様が次々と出てくると思っています。それを先取りして、ご入居者のライフスタイルのモデルとなるような住空間を提案していきたいですね。

このエリアでは、私の年齢と同じくらいの築年数になる建物も多く、25年後には多数の物件が耐用年数を超えることになります。今からできる老朽化対策として、管理物件の計画的な修繕と、劣化の早期発見・早期対策を実施します。

新築時の状態を長く保つことよりも、その時代ごとのご入居者のニーズや、新しい設備、修繕技術を取り入れて、付加価値の高い物件に進化させ続ける建物管理を目指して行きます！

株式会社ダイニチ　（資産活用/不動産管理）
http://dainichi.co.jp

株式会社Dプライフ

社宅仲介や人材紹介の先にあるものを見据えて。

渡辺　将弘さん（25歳）

今年立ち上げた体育会系出身学生専門の人材紹介事業で、就職・育成サポーターとして活動してます。

自分も地方出身者で、学生時代は野球一筋でしたので、就職時の不安や、ひとり暮らしの戸惑いなどを経験してきました。実体験を生かして、学生たちには、部活動の先輩のように頼ってもらいたいです。

でも、ただ漠然と「頼ってくれ」ではなく、具体的に頼れることをメニュー化して、就職先を紹介した後も、継続的にサポートできる仕組みをつくって行きたいと思っています。学生だけでなく、紹介先の企業さまにも、人材育成・定着のための支援サービスを提供していく予定です。

もともと寮・社宅仲介をする中、社宅の背景にある法人さまのニーズを追求してこの事業が生まれました。常にサービスの先にあるものを見据え、ダイニチグループの理念である「幸せ基盤の創造」を支える柱のひとつに育てて行きたいです。

株式会社Dプライフ(寮・社宅仲介/人材紹介・育成)
http://dprife.co.jp

株式会社舞浜倶楽部

家族支援・地域支援で「親孝行のお手伝い」。

大根　暢彦さん（28歳）

今年、舞浜倶楽部は、地域に飛び出し、浦安市と協働で、ご家族・地域の方・事業者の認知症への理解を深めていただく活動を開始しました。

舞浜倶楽部が創業から掲げているスローガン「親孝行のお手伝い」を実現するには、ご家族の悩みに寄り添うことが必須ですが、悩みを軽減するには、まずご家族が認知症を正しく理解し向き合うこと、認知症の人を温かい目で見守る地域社会をつくること、そして正しい理解でご本人に対応するプロフェッショナルの存在が必要です。

こうした交流活動を通じて、ますます進行する高齢社会に対応する街づくりに役立てて行ければと思います。

舞浜倶楽部は、日本で初めてスウェーデンの考え方や手法を本格的に導入した施設ですが、私たちのケア方針に基づいた対応を現場の隅々で実践してQOL（生活の質）を更に磨き高めていくことを目指して行きます。

株式会社舞浜倶楽部(介護施設運営/介護相談)
http://maihamaclub.co.jp

ダイニチグループ